



2026年6月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/小澤 昌甲
編集/本部事務局
印刷/石川特殊製本株式会社

YMCA News



年間聖句 「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」
イザヤ書43章5節より

小さなステップアップを見守る眼差し： 親子で育むSPIRIT・MIND・BODY

神戸YMCAは「SPIRIT・MIND・BODY」の調和ある成長を理念に掲げ、次代を担う青少年の育成に取り組んでいます。プール・体操・バスケットボール・キャンプなどのウェルネスプログラムもその取り組みの一環で、技術の習得だけにとどまらない、人としての土台を育む場として、長年にわたり多くの皆さまにご参加いただいています。

今号では、幼少期からYMCAのプログラムに親しみ、現在はご自身のお子さまとともに参加を続けておられる秀平 悠磨さんに、これまでの歩みと実感をご寄稿いただきました。リーダーとの日々のかかわりの中で育まれた「ひと」への信頼——秀平さんの言葉は、YMCAが大切にしてきたものを雄弁に物語っておられます。

神戸キリスト教青年会常議員・会員増強委員 秀平 悠磨 さん

「YMCAに育ててもらいました」。これは、やかましく生傷の絶えない男三兄弟の育児方法を聞かれたときの、私の母の回答です。現に私は幼稚園入園前にYMCAの幼児教室に参加し、野外活動、沼島・余島キャンプ、スキー、そして学生になると余島のリーダーとして活動しました。ウェルネスプログラムに参加し続け、育ててもらったというわけです。現在も「YMCA森のこどもたち(森の親子)」やインターナショナル・チャリティーランなどに参加して身体を動かしており、子どもたちも体操やアクアティックプログラムに参加しています。

YMCAでは何を育ててもらっているのか。今では楽しんでプールに通っている長男ですが、通い始めた頃は45分のクラス中、42分は泣いていました。それでも

リーダーは着替えるところから常に寄り添い、小さなステップアップを見つけては褒め、スキルのみならず人としての成長を見守ってくれました。それがあったからこそ水に慣れ、泳法を学べるようになりました。

一つずつワッペンを獲得していく長男をよそに、一足飛びにワッペンを獲得していった次男に対しては、「順番を守る」や「リーダーの話を聞く」など、人としての成長が追い付いていないため、進級できそうでも進級を見送ってくれたこともありました。その理由をしっかりと説明してくださったため、私も子どもに寄り添い、成長を見守ることができました。

これからも「SPIRIT・MIND・BODY」を、親子ともども、共に育てていただきます。



入園式

毎年4月1日に行う保育園の入園式。今年は式に合わせるかのように桜が満開となり、新しい年度の始まりにふさわしい一日となりました。ちょうどイースターの時期とも重なり、新たな場が与えられ、新たないのちが始まる季節であることを改めて感じさせられました。

式では、子どもたちが無邪気な笑顔を浮かべる一方、保護者の方々は少し緊張した面持ちで、その様子がとても印象的でした。入園・入学は、新しい場所や出会いの始まりです。子どもも保護者も、共に歩み出す春となりました。



西宮YMCA保育園の入園式

Pick up



No.6

～子育ての不安…その①～

総理事 小澤 昌甲

「子どもを育てる」というのは、本当に不安ですし、心配が山積みです。特に第一子の場合、親は経験が無いわけですから当然です。熱が出ると「何だろう？ 病気だろうか？」、傷があると「どこで怪我したのだろうか？」「もしかして、いじめられているのでは？」等々、心配は尽きません。そしてこの気持ちは、言葉にせずとも子どもに伝わっていくのです。

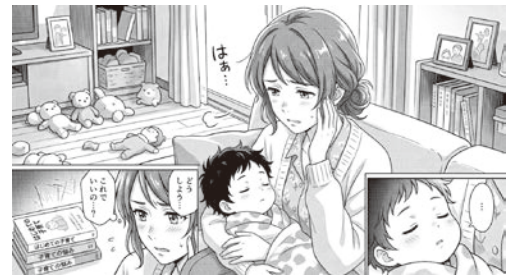
子ども同士の遊びの中で、モノや順番の取り合いになって、言葉より先に手が出てしまったとき、親は「なぜうちの子がされたのだろうか？」「先生は見てたの？ 止めてくれなかったの？」「怪我をさせてしまい申し訳ない。相手の親は何と言うだろう？」と不安になります。一方、子どもは、こうした経験を繰り返しながら物事の分別を学んでいきます。話し合い、非を認め合い、相手の気持ちを感じ合い、赦し合うとすぐに次の行動に移るというのは頻繁にあることです。しかし親は「何でされたの？」「何もしていないのにしてきたの？」「痛かったでしょう」「赦せないよね」と不安の裏側にある怒りの気持ちが収まらなくなります。子ども同士のことが、親同士の話へと変化していくのです。子ども同士では、この問題は終わったことなのに、です。

親の気持ちを察して「自分は信頼されていない」「ありのままの自分はダメ

なの？」「話すことはダメなのかな？」と自信を失い、不安定になる子どもの姿を幾度となく見てきました。親の抱く「心配」の多くは、実は子どもへの不信感の裏返しであるとも言えます。「どんな気持ちだったの？」「そうだったんだ！」と子どもの気持ちを聞くことで、子どもは「次はどうすることが望ましいのか？」などと自ら考え、それが学びとなっていきます。

できることなら成功体験から学んでほしいと願いますが、振り返ってみますと私たち大人も、うまくいかなかった経験の繰り返しの中で身に付いたことがたくさんあるのではないのでしょうか。自らが考えて動いてみることや、ありのままの出来事が容認されていく体験があまりにも少なくなり、親にとって正しいことのみが子どもにとっても良しとされていくことの危険性を感じております。

「自分の力で育っていくとは…」 続きは次号に掲載します。



創立140周年記念 神戸YMCA総会

神戸YMCAは、子どもや若者の成長を願い、さまざまな分野で活動するボランティアの皆さまと共に、これまで歩んでまいりました。その140年の歩みとこれからのビジョンを分かち合う場として、総会を開催いたします。

日時 2026年6月27日(土) 10:00～12:30(予定)

会場 神戸YMCA三宮会館 チャペル

内容

第一部 礼拝

奨励 埴田直文さん

(神戸キリスト教青年会常議員、ミッション委員長)

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」

イザヤ書43章5節

第二部 議事

役員(常議員・監事)選任の件

会則変更の件

2025年度神戸YMCA事業報告の件

2026年度神戸YMCA方針及び事業計画の件

報告・表彰 委員会報告

ユースボランティアの委嘱

ボランティア奨励賞

その他

第三部 お茶会

議案につきましては、常議員会の審議を経て、総会構成員の皆さまにご案内いたします。

問合せ 神戸YMCA本部事務局

TEL 078-241-7201

Eメール info@kobeymca.org

あかしこども広場

あかしこども広場には、小学生までの子どもと保護者の方が一緒にあそべる「親子交流スペースハレハレ」があります。「ハレハレ」には、世界の優れたあそび道具を取り扱う玩具会社「ボーネルンド」の遊具・玩具のみを設置しています。

ハイハイの赤ちゃんがゆっくりとあそべる「ベビーゾーン」、ブロックで車やワニなどをつくったり、おままごとができる「ロールプレイゾーン」のほか、幼児から小学生が挑戦できるクライミングウォールや、赤ちゃ

親子交流スペース ハレハレ

んも大好きなボールプールもあります。

いちばん人気があるのが、身体を動かしてあそべる「アクティブゾーン」です。大きなブロックで難しい道を作って歩いてみたり、秘密基地を作ったり。親子で一緒に跳んであそべる大きなトランポリン「エアキャッスル」も人気です！

ハレハレ内にある遊具や玩具を使った、ちょっとしたあそびを紹介してくれるリーダーもいます。ぜひ、あそびに来てくださいね。



大人も子どもと一緒に遊べるハレハレ

須磨YMCA

神戸YMCAには、西神戸・三宮・西宮・須磨の4拠点にユースバスケットボールクラブがあります。「バスケットボールをやりたい！」「バスケットボールが好き！」な小学生が元気に活動しています。

須磨YMCAでは、OB・OGを中心とした中学生から大学生の「ユースボランティアリーダー」と一緒に活動しています。普段の練習はもちろん、試合にも参加して共に時間を過ごします。彼ら自身がここで経験してきたからこそできるアドバイスや寄り添い方、そして一緒になって楽しむ姿を見ていると、頼もしさを感じるとともに心が温かくなります。一人ひとりに寄り

バスケットを通して育む心：リーダーと共に歩むユースバスケットボールクラブ

添いながら、「YMCAらしさ」を大切に、子どもたちと共に成長してほしいです。

子どもたちはリーダーたちと一緒にバスケットをすることが大好きです。バスケットを楽しみ、バスケットを通して自分も仲間も大切にできる心が育ってほしいと願っています。

西神戸・三宮・西宮で練習に励んでいる皆さん、そして須磨の皆さん、バスケットをもっともっと楽しみましょう！ ユースバスケットボールを盛り上げていきましょう！今年度も、みんなで最高に楽しい1年にしましょう！



R E P O R T

西宮YMCA

歩みを共に

西宮YMCAでは「まめの木」と「サポートプログラム」という発達支援のプログラムを実施しています。

この春、年長児クラスから通っていた高校3年生のメンバーが、サポートプログラムを卒業しました。最後のクラスで、年長児の頃からかかわってきた講師たちに向けて、「ずっと通いたいと思える場所でした」と話してくれました。その言葉が、胸に沁みました。これまでの成長に寄り添わせてもらえたことをうれしく感じ、共に歩んできた時間の大切さを改めて感じさせてくれる言葉でした。

今年度から、新たに「放課後等デイサービス」が始まりました。未就学児を対象とした「まめの木」の児童発達支援事業に加え、保育所等訪問支援事業、小学生対象の放課後等デイサービス、そして中高生を対象とした「サポートプログラム」。未就学から高校3年生まで、継続したかかわりの中で、一人ひとりとながら、それぞれの歩みに寄り添い続けたいと思います。



西神戸YMCA

学びへつなぐ地域型学習支援事業～大学生ボランティア講師の声～

経済的な理由により学校外での学習機会が十分ではない中学生を対象に、学習支援事業「西神戸YMCAまなびば」を行っています。子どもたちは毎週土曜日の午後、大学生・社会人のボランティア講師と一緒に学習に取り組んでいます。ある大学生ボランティアが寄せてくれた感想の一部をご紹介します。

「この勉強が何の役に立つのだろう」「勉強しても意味がないのでは」と思うことがあるかもしれませんが、今の学びは将来の可能性を広げてくれるものだと思います。だからこそ、勉強する時間が楽しいと少しでも思ってもらえるような関わり方をしていきたいです。

初めは少し緊張しましたが、生徒さんは自主的で明るく、分からないところを一生懸命質問してくれたり、感謝の気持ちを伝えてくれたりします。やりがいを感じ、うれしく思うことがたくさんあります。

「まなびば」が大切にしている価値が、この感想に込められています。子どもたちの成長に寄り添うことで、ボランティアも一緒に成長することを目指して、これからも活動していきます。



ウェルネスセンター学園都市

ココロとカラダ、つながる場所

ウェルネスセンター学園都市に通うメンバーには、共通する「若々しさ」があります。それは単に身体が引き締まっているというだけでなく、内側からあふれ出るような精神的な活力です。

その活力の源は、仲間との出会いです。ここが単なる運動の場であるだけでなく、「人と人がつながる場所」だからです。一人で黙々と汗を流すのも良いですが、トレーニングを通じて新たな仲間と出会い、何気ない会話を交わす、そのひとときが心に潤いを与えるのです。

ウェルネスセンター学園都市には、充実したトレーニングマシンや開放的なプール、そしてエネルギー溢るラケットボールコートが完備されています。さらに、多種多様なレッスンプログラムも展開しており、初心者の方から上級者の方まで、自分に合ったスタイルで挑戦を始められます。

新しいスポーツ、新しいトレーニング、そして新しい仲間。ウェルネスセンター学園都市が、毎日をより健康的で、より笑顔になるための場所になればと思います。



こくさいのまど

台湾樹徳科技大学と提携

神戸YMCAは、長年にわたり台湾南部の高雄YMCAと姉妹提携を結び、相互の交流と人材育成に取り組んできました。

このたび、その関係をさらに発展させる形で、高雄YMCAを通じて樹徳科技大学との新たな提携が実現しました。ウェルネス分野における指導者の受け入れと育成を目的とするもので、国境を越えた学びと実践の場を広げてまいります。異なる文化や価値観にふれながら成長する人材は、これからの社会にとって大きな力となります。

締結式には神戸YMCAからウェルネス事業統括の小寺隆志が出席し、この新たな一歩を共に祝いました。今後もYMCAのネットワークを活かし、国際協力と人づくりの歩みを着実に進めてまいります。皆さまの温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



樹徳科技大学 オウ ショウユウ校長(左)、高雄YMCA チョウ コウ理事長(中央)

YMCA STORY

私とYMCA

西神戸YMCA幼稚園ができた年、長男が年中組に入園しました。新しい園舎はピカピカで、毎朝通うたびに胸が弾んだことを覚えています。クリスマス礼拝では、保護者も子どもたちと一緒にイエス様へ歌のプレゼントをしたことが印象に残っています。息子が年長になり卒園する年、できたての体育館で卒園式をもらったときの誇らしげな顔は、今でも目に浮かびます。新しい園舎の香りと、先生方の温かい笑顔が、私たち親子の心に深く刻まれました。

卒園後、わが家は4年間アメリカで暮らしました。街中でYMCAの施設の看板を見つけるたびに、息子がうれしそうに指をさしていました。日本から遠く離れた地で、慣れない生活に少し心細く感じていた息子にとって、自分の幼

西神戸YMCA幼稚園保育教諭 いなだ みほこ 稲田 美補子 さん

幼稚園がこの国にもあるような気がして、安心できたのだと思います。異国の街角で見た「YMCA」の文字が、私には大切な思い出です。

息子はもうすっかり大人になりました。そして私は今、思い出深い西神戸YMCA幼稚園で働かせていただいています。子どもたちと過ごす時間の中で、たくさんの力をもらっています。子どもたちの笑顔やつぶやきに励まされ、感謝の気持ちでいっぱいです。遊びの中で子どもたちが自分の世界を広げ、何かをつくり上げていく過程の尊さを、働くようになって改めて感じました。こんなに温かく、子どもを信じて見守る幼稚園は他にないと思います。私にとって西神戸YMCA幼稚園は、家族の思い出と今の喜びがつながる、かけがえのない場所です。

ワイズコーナー

ウェルビーイング

やなぎ としはる
六甲部部长 柳 敏晴 さん
(神戸西ワイズメンズクラブ)

日本に「ウエルネス」という言葉が入ってきたのは、1981年に全米健康体育会議に参加した日本YMCAの代表が、会議のキーワードであった「ウエルネス」を帰国後に報告したのが最初だと言われています。「ウエルネス」という概念を提唱したのはアメリカの医学博士ハルバード・ダンで、1961年の著書『High Level Wellness』の中で「個人が機能できる最大限の可能性に向けて統合された方向性を持つ、生き活きた機能の状態」であると定義しました。

日本YMCA同盟は、ウエルネス・スタディ・カンファレンス(1984年)、国際ウエルネス・シンポジウム(1985年)を開催し、その後、国内に浸透していきます。ワイズメンズクラブも「ワイズウエルネス」を創り、ウエルネスの普及展開に尽力しました。

ダンのウエルネス概念は、WHOの健康定義(1948年)における「ウェルビーイング」の考え方と深く共鳴しています。今年度、六甲部は「ウェルビーイング」を部の運営テーマに掲げ、歩んでいます。

YMCAサービス・ユース事業では、ランチでのバザー実施やリーダー認証など、各ランチ、センター、地域社会へのサービス、協力等を進めています。

昨秋の余島キャンプ場感謝礼拝では、次世代へ何をどう伝えるか、ワイズがYMCAや地域諸団体と協働し次に何をなさねばならないかを考えさせられました。インターナショナル・チャリティーランは、自動計測装置の導入や屋台の出店など、新しい試みもあり盛り上がりました。今年1月のYYYフォーラムは、他団体からの参加者も加わり、それぞれの年代の居場所について考えることができました。今後、ワイズはどの年代の居場所になるのでしょうか？

YMCA、ワイズの働きを地域社会に広げられるよう、「ウェルビーイング」をテーマに会員の力を結集していきたいと考えています。

夏キャンプ・講習会のご案内

ウエルネスセンター学園都市

① 体操講習会

8月開催予定

② サッカーキャンプ

8月開催予定



西神戸YMCA

① 体操特別練習会

7月開催予定

② ユースバスケットボール特別練習会

7、8月開催予定

※上記以外にも各センターでキャンプ・講習会を企画しています。詳細は神戸YMCAホームページにて、6月下旬～7月上旬頃にお知らせいたします。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)(前号掲載以降～4/13まで)

寄附

海徳 啓介、池田 麻梨子、溝口 悟、神戸中ロータリークラブ、神戸YMCAベルクワイアー、神戸学園都市ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブ、神戸ワイズメンズクラブ

子ども奨学金

田中 邦康

ファミリーウエルネス センタープール改修工事募金

ロニー アレキサンダー バレット、安井 敏子、井島 裕介、永田 薫、奥西 弘典、岡 昭仁、岡 侑希乃、岡村 祐輝、下園 千香子、加藤 郷子、完山 紘基、岩井 義矢、喜田 徹平、吉川 真喜子、桑原 みか、原田 信子、胡 克実、後野 貴充、光川 和子、幸前 直美、坂田 清子、三原 弘子、山元 富美、山口 伊織、山田 よし乃、山田 麗子、糸井 浩、小寺 星子、小寺 隆志、小松 照枝、小澤 昌甲、松縄 留美、新川 匠郎、新川 真貴子、森本 紗代、深谷 尚子、神田 千代子、水井 理愛、盛田 朝香、相良 謙仁、大石 真紀、大塚 永幸、大塚 雅人、竹内 崇真、中山 順子、中祖 順恵、中祖 葉子、仲宗根 達也、張 碧鳳、長戸 香織、坪田 菜緒、田中 恵子、田中 治也、土岐 真澄、東 江里子、畑中 よしみ、尾崎 和子、平野 荘太、北居 恵津子、友廣 美津子、李 維娥、林 拓二、林 美華、櫻井 英子、櫻井 富美子、澤田 哲平、齊藤 靖

国際協力募金

池田 優希、松本 法判、熊谷 郁子、海藻 佳代子、認定こども園松蔭おかもと保育園、社会福祉法人イエス団神視保育園、Ding Dong Ringers、ワイワイまつり、西宮市立浜脇育成センター、西宮市立香櫨園育成センター、太山寺児童館、あかしこども広場、ユースプラザ KOBE・EAST、ファミリーウエルネスセンター、ウエルネスセンター学園都市、西神戸ランチ、須磨センター、西神戸センター、西宮ランチ、西神戸YMCA幼稚園、YMCA保育園、西神戸YMCA保育園、西宮YMCA保育園、西宮つとがわYMCA保育園、神戸学園都市YMCAこども園、YMCAおひさま、西神戸YMCA幼稚園

この他にも、多数の寄附・募金をいただいております。感謝をもってご報告いたします。

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、ご寄附いただく制度です。

神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって子どもと若者を育む先駆的な働きを進めてまいりました。

大切な浄財(財産)を未来に遺し、幼い子どもや若者たちのために、そして社会に必要とされる活動を展開できるよう、神戸YMCAが責任をもって大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、イエス・キリストにおいて示された、愛と奉仕の生き方に学びつつ、すべてのいのちが尊ばれ、共に支え合う、公正で平和な社会を創ります。

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	須磨YMCA	☎078(734)0183	神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
ランゲージセンター	☎078(241)7204	YMCA保育園	☎078(794)3901	こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
専門学校	☎078(241)7203	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992	神戸市立高倉台児童館	☎078(733)6844
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011	神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955	YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542	おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705	西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016	西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	あかしこども広場	☎078(918)6355	西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444
YMCAおひさま	☎078(793)9077	学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045		
西神戸YMCA	☎078(993)1560	ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222		

